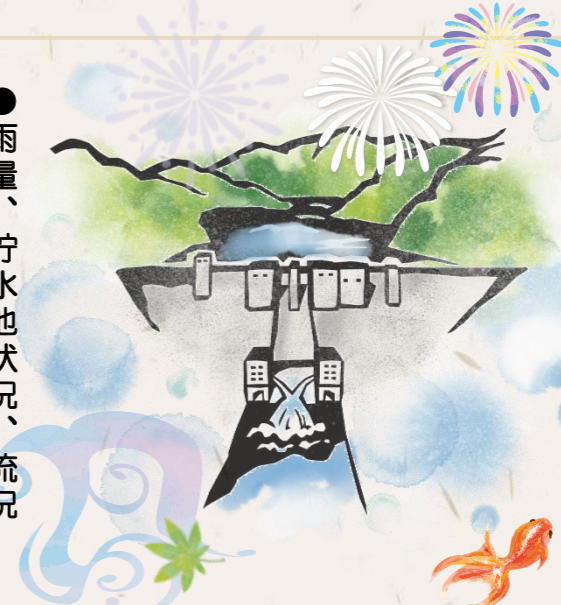


今月の一庫ダム



●雨量、貯水池状況、流況

6月の月雨量(ダム流域平均雨量)は94.6mmで、
 昨年2021.6mmに対し約47%の雨量でした。
 一庫ダムの下流河川の状況は、利水基準地点虫生(むしゅう)へ23日間、約279万m³を補給しました。
 7月25日現在、貯水率は約98.3%です。

Topics

▼緊急放流

異常洪水時の「緊急放流」って、どういうこと?

緊急放流は、文字どおりダムや川の緊急事態です。自治体から出される避難情報に基づき、速やかに避難を行って下さい。



(異常洪水時防災操作)

ダムでは大雨の時にダムへ流れ込む水の一部をため込み、ダム下流域の洪水被害を軽減する操作(洪水調節)をおこなっています。
 しかし、ダムに貯められる量は限界がありますので、大雨が降り続くと満杯になってしまいます。ダムが満杯になると予測された場合、ダムに流れ込む水量と等しくなるまで放流量を徐々に増加させ、その後は流れ込む水量と同じ水量を放流することになります。この操作を「緊急放流(異常洪水時防災操作)」といいます。

緊急放流の場合でも、ダムに流れ込む水量より多い水量をダムから流すことはありません。

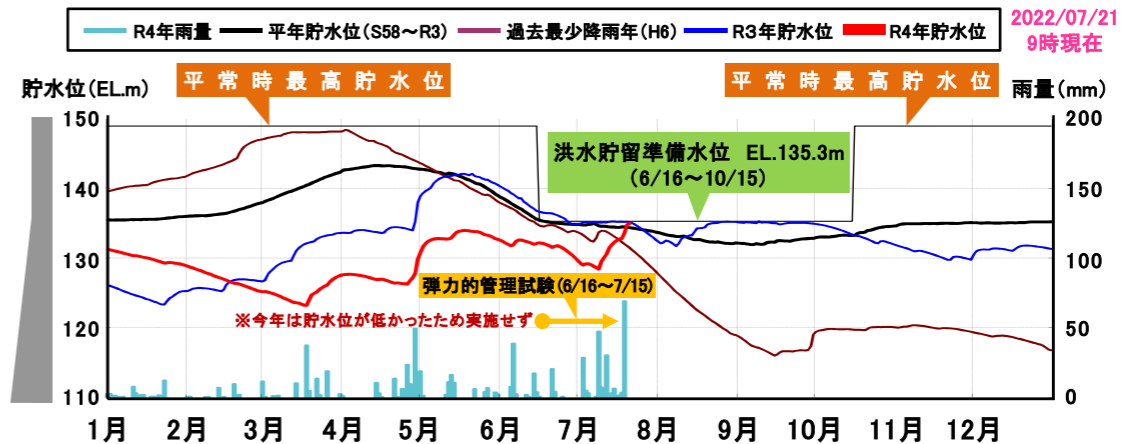
緊急放流の際には、緊急効果音など特別な放送をしますので、よき注意してください。

スピーカー放送やサイレンの音は一庫ダムHPから確認できます。



また、普段から防災マップ等で危険箇所や避難場所の確認をおこなってください。

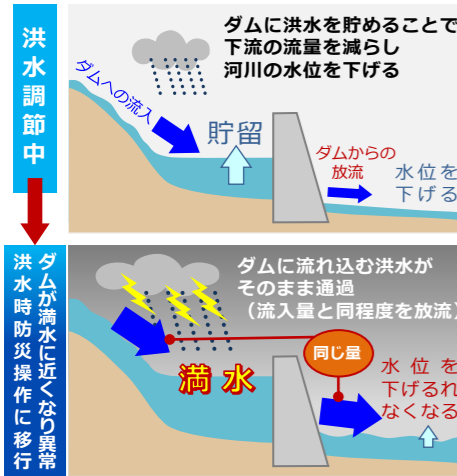
一庫ダムの主な年間貯水位曲線と令和4年の日雨量



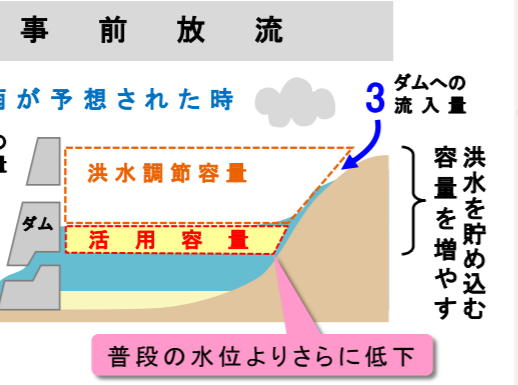
平成30年7月豪雨時の状況



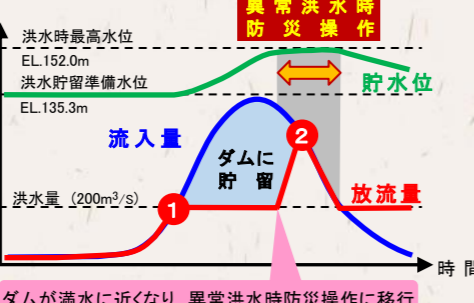
▲満水に近い一庫ダム
 平成30年7月7日撮影 (貯水位148.27m)



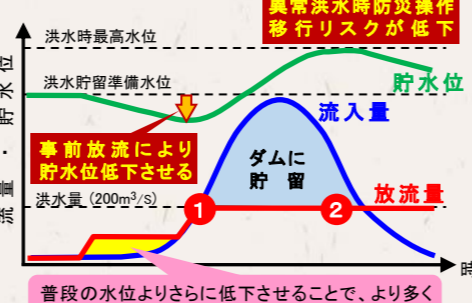
このような異常降雨によりダムが満杯になるリスクを少なくするため、一庫ダムでは緊急放流を行うような大雨が予測された場合に、ダムに貯まっている水の一部を洪水の発生前に放流し、空き容量を一時的に増やす「事前放流」を行います。



事前放流を実施しない場合



事前放流を実施した場合



貯水池の状況 (R4.07.07 19時撮影)
 貯水位 EL.128.77m



利水基準点 (虫生地点) の位置



ツイッターでも情報やお知らせをいち早く発信しています!

@jwa_hitokura

「事前放流」については前号の【かわらばんひとくら6月号】でも詳しい記事を掲載しています。是非、あわせてお読みください!

水資源機構 YouTubeでも防災操作の詳しい動画を見ることができます!



放流警報の啓発チラシ(多言語版)を 川西市役所内で配布しています。

一庫ダム管理所では、6月16日から10月15日の期間を、洪水期と定義しており、この間は台風、前線の多い時期になります。雨が多く降った結果、ダムのゲートから放流する際には、事前にサイレン、スピーカー放送で川に近づかないように呼びかけています。

一方、放送は日本語で行っているため、外国人の方々は放送の内容の理解が難しいことが考えられます。そこで、川西市役所内にて多言語の啓発チラシを設置・配布させていただくこととしました。チラシは、日本語、英語、中国語、韓国



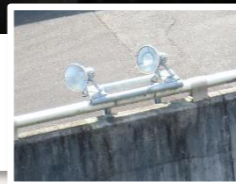
語、ポルトガル語の5カ国語を用意し、チラシのQRコードを読み取ると、実際に放送するサイレンの音を聞くことができます。また、一庫ダムホームページからも確認できますので、ぜひサイレンの音を聞いてみてください。

堤体照明設備について

堤体照明設備とは、夜間に地震等の災害が起こった時に、ダムの本体(外観)の損傷や漏水、その他の放流設備の異常が発生していないかを照らして目視確認するための設備です。照明はLEDタイプの投光器で、ダム下流の左岸側に11台、右岸側に10台、ダム正面に2台の合計23台設置しています。この23台の投光器を点灯させると夜間でもはっきりとダムの姿を確認することができます。また、堤体照明設備は突然発生する災害時に備えて、写真のように定期的に点灯試験を行っております。



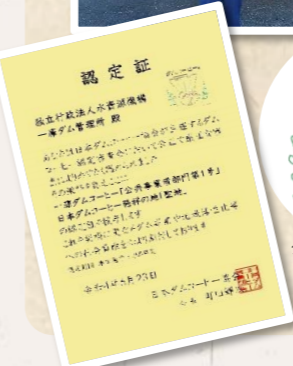
令和4年7月試験点灯時の様子



DAM COFFEE

ダムコーヒー認定制度

一庫ダムは、日本ダムコーヒー協会が6月16日から運用を開始した「ダムコーヒー認定制度」への申請を行い、6月23日に「公共事業者部門第1号」として認定を受けました。また、全国初の認定者ということで、日本ダムコーヒー発祥の地「聖地」としても登録されました。



季節のイベント

「アユ」が空を泳いでいます!

6月18日(日)、アユ釣りの解禁日に合わせ猪名川漁業協同組合協力のもと、一庫大路次川上流の龍化吊橋の下流に「アユのぼり」を掲揚しました。一庫ダム湖には、湖を海の代わりとして産まれ育った湖産アユが生息しています。それらのアユが元気に大きく育つこと、またダム湖を利用される方々の安全を祈念して掲揚しているのが「アユのぼり」です。今年は、来訪された皆様にアユのぼりに寄せ書きをしていただき、また、アユのフライも提供しました。アユ釣りが解禁されている9月末まで掲揚する予定です。



寄せ書き

参加者の皆様と記念撮影

あつあつアユのフライ

【アユ釣り解禁】全国の鮎釣りファンのみならずにお知らせです!一庫ダムが位置する猪名川水系では9月30日(金)まで鮎釣りが解禁!

【問い合わせ先】(川の案内所)
猪名川漁業協同組合
電話・080-6175-9311
FAX・072-1792-0037

一庫ダムの今昔物語 × 周辺スポット紹介

りゅうがすいどう

一庫ダムの上流に位置する龍化溪流地区。溪流の涼しげな音を聞きながら、遊歩道を散策できるこの地区には龍化隧道という手掘りのトンネルがあります。かつてこの辺りは人がよく崖から転落するなど、通行の難所であったと言われており、それを知った能勢町出身の植村治良兵衛(じろべい)氏が、私財を投じ5年の歳月をかけて隧道をつくりました。大正5年(1916)に完成した隧道は、昭和52年(1977)に一庫ダム建設工事が始まってから、迂回路(うかいろ)に新龍化トンネルが完成するまで一般国道173号として利用されました。

現在は廃道となっている旧173号線の龍化隧道は、一庫ダムの平常時最高水位の時には水没してしましますが、水位が低い時には姿を現します。



川の案内所

このあたりは鮎釣りスポット!

千軒クラウド(原石山)
一庫ダム建設のための骨材を採取した場所。

新龍化トンネル
龍化隧道記念碑

【ご注意】
・隧道は危険防止のため立入禁止禁止です。
・遊歩道は水没期間は通行禁止です。

現在の龍化隧道 (R4.7.17撮影)



新龍化トンネル

龍化隧道



水没前の龍化隧道 (S52.8.26撮影)



龍化隧道完成写真 (T5撮影)
出典:「写真集 湖底に沈んだ千軒道・国崎道」
著者・塩田豪一



記念碑は現在の新龍化トンネル南側抗口横に移設されています。

独立行政法人 水資源機構
一庫ダム管理所
〒666-0153
兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1
TEL:072-794-6671
FAX:072-794-1908
一庫ダムHP

